



LA MAISON

18
禁

GARAKUTA-YA

LA MAISON



GARAKUTA-YA

さあ、春香ちゃん
ごめんごめん
ご挨拶します。

春香、おとうさん
お仕事がんばっている
からさ。

はい、おはよう。
おはよう。

じゃ、いつものを頼む。

……はい。

がんばってござい！
祐作さん。

ほほほ・・・
いや、朝からゆの良し舞で、
羨ましいですな。



お義父さま！

五代君はこれから
お仕事ですか？



夫婦仲が良い家庭にいて
丈夫で良い子が育つと
言うものじゃあ。

あつじやろ、
春香や。



イヤだわ、
お義父さま見せられたんであが？
もう止めましようって言ったのに
祐作さんだったら・・・



あつーそれじゃ
僕仕事に遅れますので失礼します。
いっこくるよ、響子ー！



響子さんには一つ
良い夫婦の有り様を
教えた方が好いようじゃな
如何かな、五代君？

え、きょうですが・・・



恥おかしがる事はなからう。
夫婦田満、これ以上めでたい
ことはないじゃろ。

お義父さん、
急いで戻ってやる
からびっくりにしたわ。

それと、
余り祐作さんに変なこと吹き込ま
ないでくださいね。
只でさ之子供ほくて父親の自覚が
無いんじゃないですか。

もうじやないわい、
彼には重荷じやない
お前を諦めなせぬ
事は...

ほっほっ...

ちよっ...お義父さま。
何をするんです！
止めてください！



わしはそんな事を約束した
覚えはないぞ！
それを朝から眼の前で乳繰り
おおて見せ付けよつて。

ダメーお義父さん、
こんな関係はもう止めな
するつて……

この結婚、端から上手く
いく訳無いと思っつたわい！
あんな優柔不断な男にお前を
御しきれるものが。

あつあつ

ピュッ

あつあつ

グキョ

グキョ

ほれ、もうこんな
纏れてあるわい、
大方夜の生活も満更に御方かせこ
驚つたらんのじゃろつ。

あつあつ……
やっ！

お義父さん、もう止めなさい。
こんな事、祐作さんに知られたら
わたし・・・

つーーまだそんな事を、
あなた様のことをわいの
こしを見ればなれるわい。

ズルッ

ほれ、久しぶりじゃろ。
ぬこ仕入てるから
若いモノには負けたぞ。

ポロッ

仕入るからで、
早く仕舞って
くださいー

眼を逸らしても無駄じゃ。
こイツの味を知り尽くしている
その味が忘れられんじやろ。

フィルッ

あし
イヤミかな、
癒い付けないぞ・・・

ほほほ・・・
堪らないうちの娘が、
一晩洗ったからな、
ぬは知らんのにやろ、
おまえが干しホの臭いが大好き
だと教えてやろうかの。

フィルッ

ダメー・・・
それだけは祐作さんに
知られちゃ駄目ー



うん、
さっきと陸えんが！
いっせいにさびり
付いて居ったじゃ
ろが。



痛がぶりが板に付いたな、
一刻館を任せてからあっがり
大人しく成り居って。
あの淫蕩なおまへとは
思えんが。

こうして殺しく頭
を振って喉奥まで
飲み込めのが
好きなんじゃろ。



相変わらずおまへの尻してる、
子を産んで尻肉が柔らかいよう
なって鮮やかな色になるようじゃな。

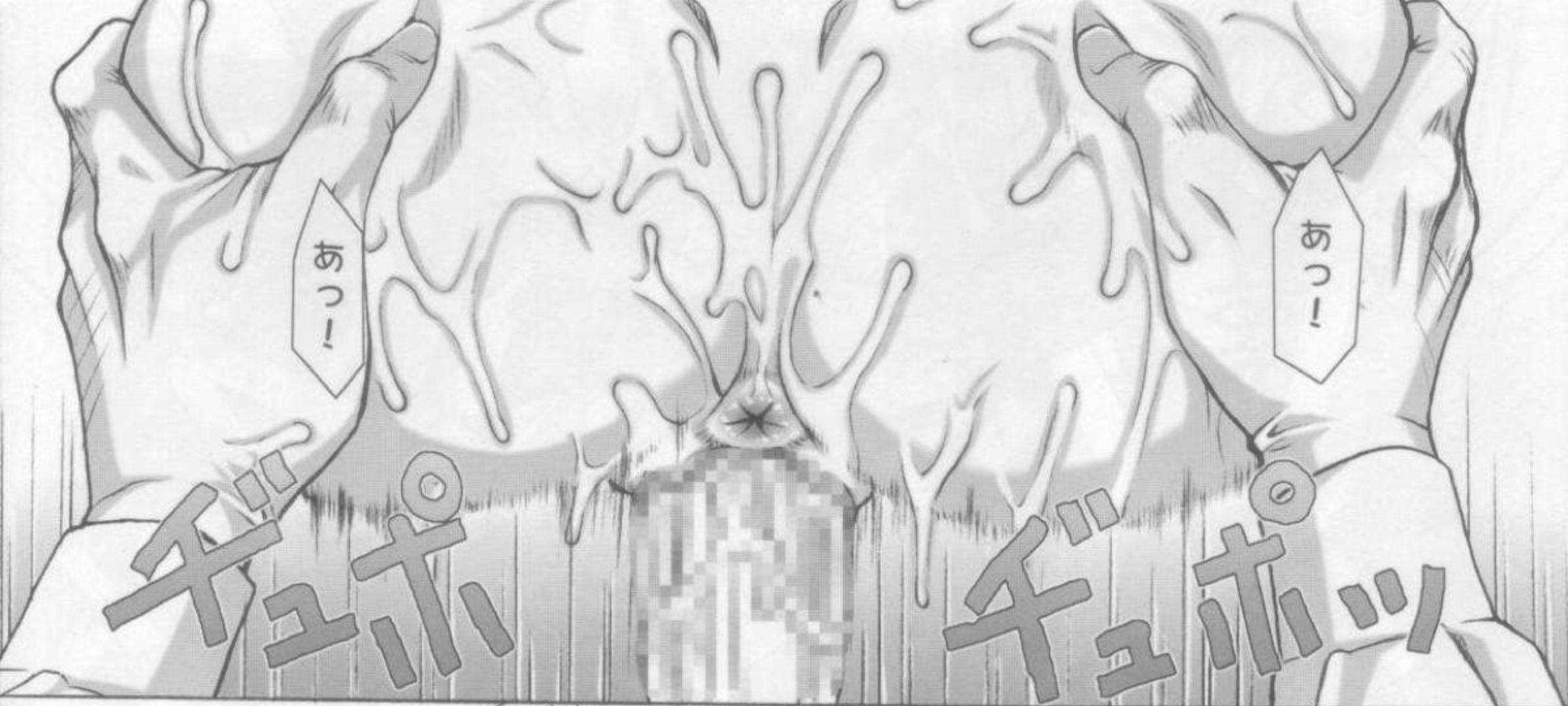
なに、
この寒い部屋じゃ何処でやっても
同じ事じゃろ。
まあ、起き丸程度に声を抑える
事だな。

止めてお義父さん
ここじゃ春香が
起きてしまいます。

それこそ、おまへの
産み跡が子守唄代りに聞かせ
てやろうか？
おんな娘の音が楽しみじゃろ。

あすっ
ひびく
それを踏むっ...

踏むの
おまへの音がー



しかし出産で少々緩くなつたみたいじゃの。これじゃわしを射精させる事は出来んぞ。ほれ、もっと締め付けて来んか！



ほほほ、肉壁がよく締め付いて来るよ、おまへの瞳は絶品じゃ！



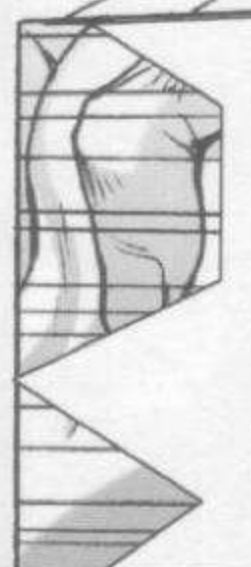
おおっ！堪らん・・・
魔羅を扱き上げる様に
吸い付いて来よる。
そんなにわしのモノが
欲しいか？

ち・響いま・・・あー！

ああ・・・っ

ぶるん

ぶるん



瞳内に射精あぞ、
わしの子種を子宮
で受け止めろよー！

響子ー！

ズルッ

ズルッ



駄目ッ！
お義父さま、瞳内だけは
許してー！

アアッ

イヤァー



かかっー

こたああ・・・

あんなに・・・

あー

あー



全く、男を狂わせる魔性の女
よのゝ
五代の小僧もこの体に魅入られ
たのじゃろ。

おまえを抱くとわしも
若返る様じゃわい、
やはり魔子の体は強固じゃ。


はー

はー




ほほほ・・・
忘れたとは言わせんよ。
わしの前で初めてこの体を
晒したあの日のことさ。


祐作さんはそんな
人じゃ・・・



まだ昨日の事の様に覚えている。
あの日、おまへは惣一郎との結婚に反対
するわしをホテルに呼び出し……




その若い体をわしの目の前に晒し
惣一郎との結婚を懇願しおった。




おまへは自分の肉体が男を虜にし
狂わせる事を女の本能で気付いて
おったのじゃろう。

わしは事も無げにその翼に掛かって
しまった……
若く豊満な肉体に弱れ心ならずも
結婚を承諾してしまつたのじゃ。



そつだ、あの時から
わしの人生は狂つて
しまったのじゃ。



この体を知つてしまつた
時から……
響子、おまへを抱いた
時から……



性欲の強い惣一郎の代りに
たがふる肉体の欲求に応えて
やったのは誰じゃ?

夫を喪い悲しむお前を
毎晩慰めてやったのは誰じゃ?

おまえの望む事は
全て叶えてやったのに...

ギョッ

ギョッ

はー

はー



あんな奴と...
一番になるなこー!

ウツン

ギョッ



響子、おまえはわしのモノじゃ
あの女にしろやった時から
わしの手で拓き脚洗した
この体をあんな苦境に
捕られて堪るか!

何故じゃ?
わしの気持ちを知っていた
善なのに、何故わしから
逃げる?

あーあー

あーあー

あーあー

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

ズン
ズン
ズン



まだ痛くは無い
わしの如く
突っ来んか?
生活さきぎはせんで
吾等はわしの養子に
して母産は全でお前達
に残さうとすじや。

はー

はー



は・は・は

あの娘じゃおまえを
捕らわねばならぬ
出来はせぬー
わしで無く何故あいつを
捕らぬだー

あ・あ・あ

わしがこれほど
危険なところだー



あ・あ・あ
捕らわねばならぬ
わしから捕らぬ
ものか...

あ・あ・あ

あ・あ・あ

この一刻館とこいずれ朽ち果て
消えて往く。



さ・さ・さ
わしだけ一人取り残されて
しまつのが...

お義父さま...



惣一郎

.....

パン

パン

パン

パン

.....

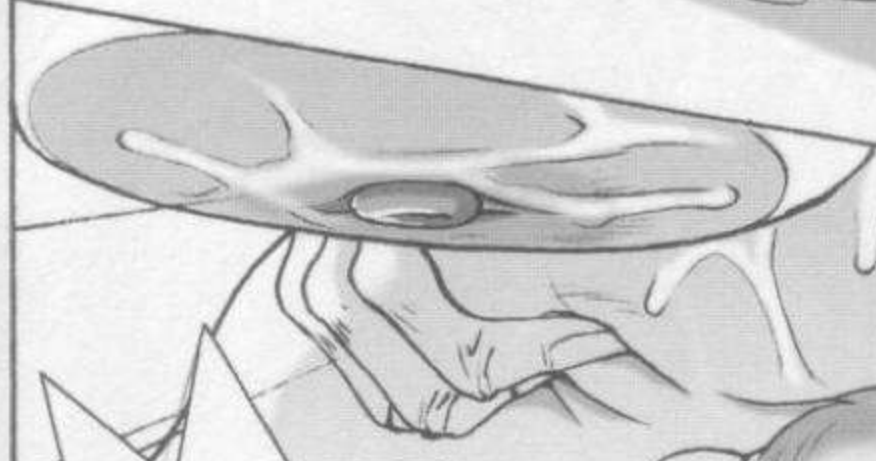
.....

あめっ...お義父さま、
イ...イイわ...!
もっもっも繋ちひたごー!

.....

.....

.....



.....
興まご来ころー!

ペニスの先が...っ
子○○のせたいっ...
.....
お腹突き抜けちゃうっ

チリ
チリ

チリ
チリ



あつあつ・・・！
昔に見られちゃう、
お義父さまと
交尾ながっているのが・・・

あつあつ・・・！

ギョッ

イヤ！ お義父さま
外から見られちゃう・・・

はんッ！

あつあつ・・・イク！
見られながら
イッちゃうー！！

あつあつ・・・！

グッ
グッ



構うものが！
見せてやれ淫蕩でふしだら
なおまへの本当の姿を
住人に見られながら
わしと一緒にイキ果ころー！

響子ッ！

ヒッ！

お義・・・父
イクッ！

ズッ



んはめくく。。。めく。。。ハ

ガグ
ハハ
ガグ



で、射精でくる。。。内に

もう子宮おなか一杯。。。ザーメンで溢れるっ。。。

キュン

ビク

ビク

キュン

はー

はー

はー

ユ
ユ
ユ

ユ
ユ
ユ



今更には遅いんだ
おじいちゃん。

ありがとうございます。
いや、実は予定外として、
経済的に二人目はまだ早いと自分は
考えていたのですが、
妻子が如何しても生みたい
と言ったので・・・

ほほほ・・・
それは大変ですが、
生まれる子の為にも
これまで以上に仕事に
精を出さねば成りませぬな

ええ。

これで駆けハイ
を始めたのが家が居る
時間が減ってしまつて・・・
早くも
家族の危機がなつてつ

なに父は居なくとも
子は育つもんじゃや。
ほほほ・・・

妊娠五ヶ月・・・



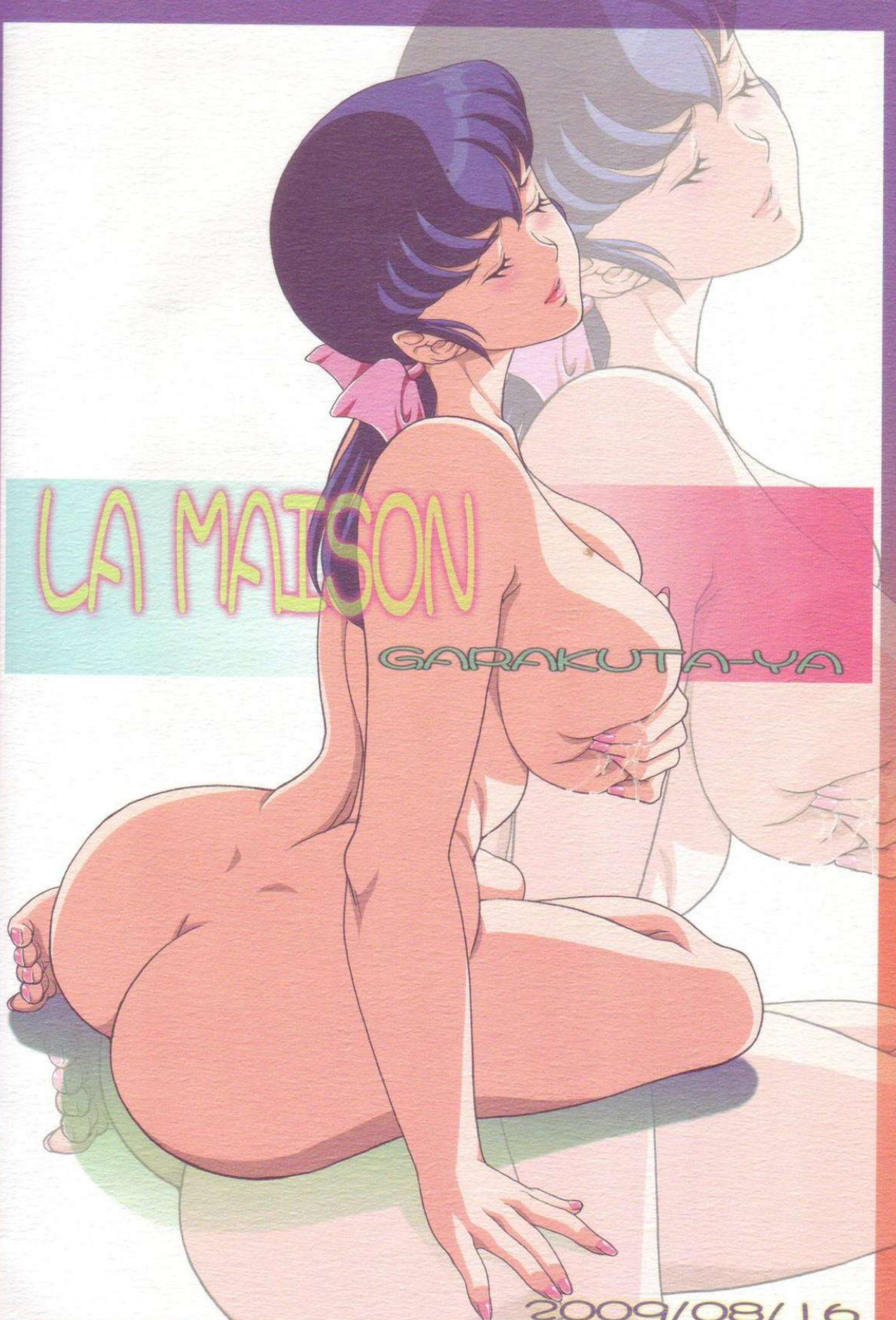
妊娠八ヶ月目



.....



.....



LA MAISON

GARAKUTA-YA

2009/08/16